

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立昭和北中学校
(昭和北中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	-3.3	-4.3
令和6年度	-9.0	-9.5
令和5年度	-9.8	-14.0
令和4年度	-3.0	-4.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 51.0% 全国 54.3% 県 55.0%</p> <p>言葉の特徴や使い方 読むこと 話すこと・聞くこと 書くこと</p>	<p>重点課題</p> <p>◎読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。(設問4二)【書くこと】(平均正答率 25.9%全国平均との差-4.2ポイント・無解答 14.7%) ◇目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。【書くこと】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎書いた文章を推敲するときは、伝えたいことを明確にして、読み手の立場に立って読み直すよう指導する。その際、語句の用法や叙述の仕方(文の長さや段落の役割と順序、語順が適切かなど)を検討するよう指導する。 ◇書く活動に入る前に、文章を書く意図や読み手に伝えたい内容を考えさせる。書いた内容は友達と読み合い、推敲させる。</p> <p>検証</p> <p>◎文章を推敲して修正する学年末テストの問題(第3学年1月)目標 60% →結果 61.1% ◇表現を工夫して、自分の考えを書く学年末テストの問題(全学年1月)目標 70% →結果 73.8%</p>
<p>数学</p> <p>本校 44.0% 全国 48.3% 県 47.0%</p> <p>数と式 図形 関数 データの活用</p>	<p>重点課題</p> <p>◎図形において、与えられた条件から総合的・発展的に考え、条件を変えた場合について証明を評価・改善することに課題がある。 設問9(2)図形(全国平均との差-9.3ポイント・無解答 8.2%) ◇図形の性質をもとに、見出した事柄や事実を式や言葉を用いて説明することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎三角形の合同条件を基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめ、証明から新たな性質を見出す活動を取り入れる。また、条件を変えた場合について、証明を評価・改善し、それを説明し合う場面を設定する。 ◇図形の定義や性質を使って説明したり作図したりする活動を多く仕組む。</p> <p>検証</p> <p>◎◇図形 学年末テストの問題(第3学年1月)目標 50%→結果 70.1%</p>

【来年度に向けて】

国語科では、今年度改善した記述・説明力を定着させるため、目的や読み手を意識させる活動を継続する。
数学科では、条件変更にもなう考察や図形の性質を用いた説明の場面を設定する。